

2021年5月31日

江戸取図書館便り 5月2号



— 新着図書紹介 —



しょうまん
*初夏「小満」(2021年5月21日~)

べにばなさかう
*小満の次項「紅花榮」(5月26日~) 紅花が盛んに咲く時期

ゆく え たがはだ
行すゑは誰肌ふれむ紅の花 (松尾芭蕉)

*「(江戸時代)紅花は、化粧用の紅や、染料になりました」・「染料にするには、茎の末の黄色いところを摘んでゆくので、末摘花と呼ばれるようになりました」・「小満とは、麦の穂が実り少し満ちてきた⇒万物が次第に成長して天地に満ち始める時期」『二十四節気と七十二候の季節手帳』山下景子著
*紅花とは、「キク科の一年草。小アジア・エジプト原産の染料・油料用植物。高さ30~90cm。夏、紅黄色のアザミに似た頭花をつける。小花は細い筒形。日本には古く中国から入り、東北地方、特に山形県を中心に栽培。古くは花弁を採集して染料や紅を作った。くれない。末摘花」(広辞苑)



*写真左から、図書館から東の空(5月24日撮影)とグラウンド(5月24日撮影)です。グラウンドに何か飛んでいます。拡大してみてください。「大鴉鷲か鷹かは知らねども君も江戸鳥川辺の学校」写真3番目は、野球部室内練習場の通学路側の青鳶(5月25日撮影)です。写真右は、通用門入り右手の紫陽花の花(5月26日撮影)。「紫陽花が一輪雨に濡れている」いよいよ梅雨入りですね (司書)

*東京国立博物館 特別展『国宝 鳥獣戯画のすべて』6月1日再開、20日まで期間延長です!

ゲド戦記の第3巻は、
ジブリの原作参考本

*継続購入図書新着紹介



*新着図書・L字ソファの手前の棚(前後面)に置きます



イエール
大学
名物講義
「究極の
テーマ」



*ヨシタケシンスケ
日本語版と英語版

「英語・日本語の
コラボ朗読」
企画しています

雨が降れば
傘を差せばいい

